

NEWS RELEASE 《情報提供資料》

いつも格別のご高配を承りありがとうございます。貴紙(誌)を通じ、関係業界へのご案内をお願い申し上げます。

日本電産シンポが、ハンディタイプ LED ストロボスコープを新発売。

日本電産シンポ株式会社(本社 京都府長岡京市神足寺田1 假屋見生社長)は、回転速度の計測やストップモーション観察ができるハンディタイプの LED ストロボスコープを開発、6月24日より発売いたします。

●日本電産シンポは、従来よりキセノンランプを発光体に使ったストロボスコープを発売し、品質管理や研究開発用として印刷機など多くの機器、業界で採用されています。今回発売した LED ストロボスコープは、ハンディタイプ(型式 DT-326)は、発光体に高輝度白色 LED を使用し、ランプの長寿命、小型軽量化を実現した新シリーズです。

●今回 LED ランプを新採用することで、軽量・小型のコンパクト設計が可能に、ランプ自体が長寿命のためランプ交換の手間が不要、さらに、経時変化が少なく、光量変動もありません。また、超高速回転に対応可能になりました。

●ストロボスコープは回転体や移動する物体にストロボの閃光を周期的に照射し、回転速度の測定や高速運動体の像を静止させて観察できるものです。回転体の回転周期にストロボの閃光周期を一致させると、回転体の像は静止して見えます。ストロボスコープは、この静止像が見えた時の閃光周波数(rpmに換算してデジタル表示)を読み取る無接触式の回転速度計です。

さらに、閃光周期を可変して高速運動体の動作を静止させたり、ストップモーションの観察も可能です。



写真：ハンディタイプ DT-326 型

●ストロボスコープは一般の回転速度計と違い、単に回転速度を計測する以外に、回転している物体や高速で動く物体を静止させて見ることができ、その用途はモータ、ギヤ、ファンなどの回転速度の計測や回転軸の振れのチェック、タービンなどの超高速回転体のチェック、輸送機などの印刷見当ズレのチェック、織機や糸の動作チェック、モータの同期チェックなど多方面に渡ります。

●ハンディタイプ LED ストロボスコープの特長

- ・ランプには長寿命の高輝度白色 LED を採用。高速回転体の視認性を向上させました。
- ・小型軽量(500g)のハンディタイプ。
- ・計測レンジは 60 ~ 120,000 fpm (2,000Hz) の超広範囲。ほとんどの回転体に対応できます。
- ・海外でも安心して使える CE マーク付。
- ・入出力信号付。回転体と同期させた発光ができます。
- ・位相変更機能付。静止させた像の位相(絵をズラしてチェックが可能)

■主な仕様

- ハンディタイプ LED ストロボスコープ(機種名 DT-326 型)
 - 計測範囲：60 ~ 120,000 fpm 1 ~ 2,000Hz
 - 設定精度：0.02% ± 1digit (25°Cにて)
 - 位相変更機能：現在の発光位相を基準に + 3° または - 3° 毎に位相シフトが可能
 - 発光部：高輝度白色 LED 3個
 - 外形寸法：幅 70 × 奥行 220 × 高 60 mm
 - 質量：約 500 g
 - 電源：アルカリ単三乾電池、AC アダプタ (AC100 ~ 240V)

■発売日

2008年6月24日(火)

■初年度売上高目標

25,000,000 円(2機種合計)

■定価

105,000 円(税抜き)

110,250 円(税込み)

■この記事に関する問い合わせ

営業企画部 TEL : 075-958-3606